傭兵小僧
YOUHEI KOZOU

成年コミック

TENMA COMICS

PUNKY KNIGHT

パンキーナイト・バウンシングバイア

-BOUNCING PHAIA-

PUNKY KNIGHT
-BOUNCING PHAIA-

傭兵小僧

▲▲▲▲▲▲▲▲

PUNKY KNIGHT
-BOUNCING PHAIA-

PUNKY KNIGHT Ⅰ →→→→→→→→→ 003

PUNKY KNIGHT Ⅱ →→→→→→→→→ 053

PUNKY KNIGHT Ⅲ ～Battle.Ⅰ～ →→ 085

PUNKY KNIGHT Ⅲ ～Battle.Ⅱ～ →→ 101

PUNKY KNIGHT Ⅲ ～Battle.Ⅲ～ →→ 117

PUNKY KNIGHT Ⅲ ～Battle.Ⅳ～ →→ 133

PUNKY KNIGHT Ⅲ ～Battle.Ⅴ～ →→ 149

PUNKY KNIGHT Ⅲ ～Battle.Ⅵ～ →→ 165

PUNKY KNIGHT Ⅲ ～Battle.Ⅶ～ →→ 181

illust collection→197

あとがき→199

▼▼▼▼▼▼▼▼

I first

んん
あン
はあん
あふっ
んっんっ
もっと……
奥……
そう
そこ……
ズズズ
あッ

あう……
んん
い……
いい
う……
くう!!
ダメだ
もう
ガマン
できない
ん……
出していいのよ
たくさん……
あン もちろん
中にね!
さあ
たっぷり
……
あッあッ
はあ
はあ
うう
くう
あっ
いい…っ
あ
熱……

ホラホラ
足がフラついて
いるよ
フ～～～
何回出したか
記憶にない……
しっかりため込んで
また来てね――
パイア
来いよ
今日の
ギャラを
払ってやるよ
あら
もう終わり
なの？
まだ
やる気かよ!?
今日はお前一人で
三日分の売り上げを
稼いでいるんだぜ
ホントに
？
どうりで
子宮が重たい
わけだ
この
好きモノめ
傭兵ギルド
なんかやめて
またこっちに
来ないか？
あ～ら
それは
ダメよ

ん？
なに？
うお!?
バキバキ
ケンカでもやってんのかな？
てめェ！人の店で何を……
いって～～～
くそっ逃げられちまうぞ！だからもっと人数をそろえろと……
今さらグチってもしょうがないだろう！
さっさとやつを追うんだよ！
あれ？傭兵ギルドのお仲間だ……

逃がすか!!
チッ
しつこいやつらだ!!
おおいパイア……
これはギルドの捕り物だよ!!
あたしにまかせて!!
おパイアじゃないか
あいつまさか……
なんだこのガキ!
てめェじゃまするとぶっ殺すぞ!!
はッ

このっ
ぐ……
!!!
おりゃっ

フフン
ギルドの戦士を
ナメちゃ
いけないよ
お〜い
パイア〜〜
やっちまった
のかよ!?
これも日ごろの
訓練のたまもの
だね
楽勝
よ!
それで?
この賞金首って
いくらの値が
……
バカ
モン!!
ぎゃっ
?
な
なによ〜〜

最近 この街でも
禁制薬物関連の
犯罪が増えて
きている
そして近々
密売組織の
大規模な取り引きが
あるという情報が
入った
ふんふん
それで？
しかしわかって
いることは
そこまでだ
日時も場所も
詳細不明と
いうのが現状だ
まあ……
地道な調査の
結果
末端組織の
売人を見つけて
ようやくネタが
入りかけたんだが
どうし
ちゃった
のよ？
お前がさっき
首へシ折った男が
その売人だよ!!
ご ごめんな
さい～～～～

お前は追われてるやつを見つけたら見境なく首折るのかよ!?
…というわけで……
調査は完全に行き詰まった
唯一の手掛かりが昇天してしまったわけだからな
そ それならそう言ってくれれば……
なによ! もとはといえば取り逃がした方が悪いんでしょ!
人員の配置に手抜かりがあったんじゃないの!?
てめェ 開き直りやがったな!!
確かに人手不足ではあったが……
君も参加の予定だったんだぞ
へ? そうなの?

この数日間全く連絡がつかなかったが……
どこで何をしていたんだ?
いいやぁ~~~
ちょっ…と
へへへ……
こいつ裏通りの売春宿でバイトしてたんですよ

だだってここのところ全然 仕事がなくって……
やれやれそんなことだから仕事がこないんだ
さかりのついたメス犬だな
何回産んだら気がすむのかな~~~~
まあ とにかく取り引きが近いことは確かなんだ
今一度初期配置に戻り捜査を続けるしかないだろう

パイア
君は西地区の
はずれにある
旧市街地で
警戒してくれ
聞いているか？
え？
あっ
はい
はい！
何も
あんな所で
……
でもあそこは
浮浪者すらいない
荒れた所ですよ
って～！
確かに
可能性は
低いが……
人目を
避けることを
考えれば
あそこを通って
荷を運び込むことも
考えられる
お前に
最適だよ
廃墟で
一人さびしく
今回の反省でも
やってな
このっ
あ～～
もう
いいから
今夜は
これで
解散だ
おい パイア
今度 邪魔したら
ただじゃ
おかないぞ
乳が
でかいからって
でかいツラ
するなよ！
な なによ
それは

全く……
最近 顔を
見せないと
思っていたら……
副業の方に
精を出して
いたとはな
仕事がなけりゃ
しようがないでしょ
背に腹は
代えられないし
だから今回の
仕事のメンバーに
入れておいたと
いうのに
副業にかまけて
本業をおろそかに
するようでは……
もう！
そんなに
いじめ
ないでよ
中に入ったら
体の方に
集中してよ……
もちろん！

はっ
あっ
ああっ
やっぱり
あン……
教官に
犯される
ときが……
フフフ
本当に困った
娘だな
さんざん
男どもの
相手をしながら
全く性欲が
尽きないとは……
いい……
あっ
だ……
だって……
気持ち
いいんだ
もん…あっ

ふう……
ホント……
つまんない
ところね……
いてて……
ゆうべは
ちょっと
やりすぎた
かな？
腰が
ツライ
あ～あ
いい若者が
こんな所で
ボ～っとして
いるなんて～～～
ヒマだから
オナニーでも
……
ん……

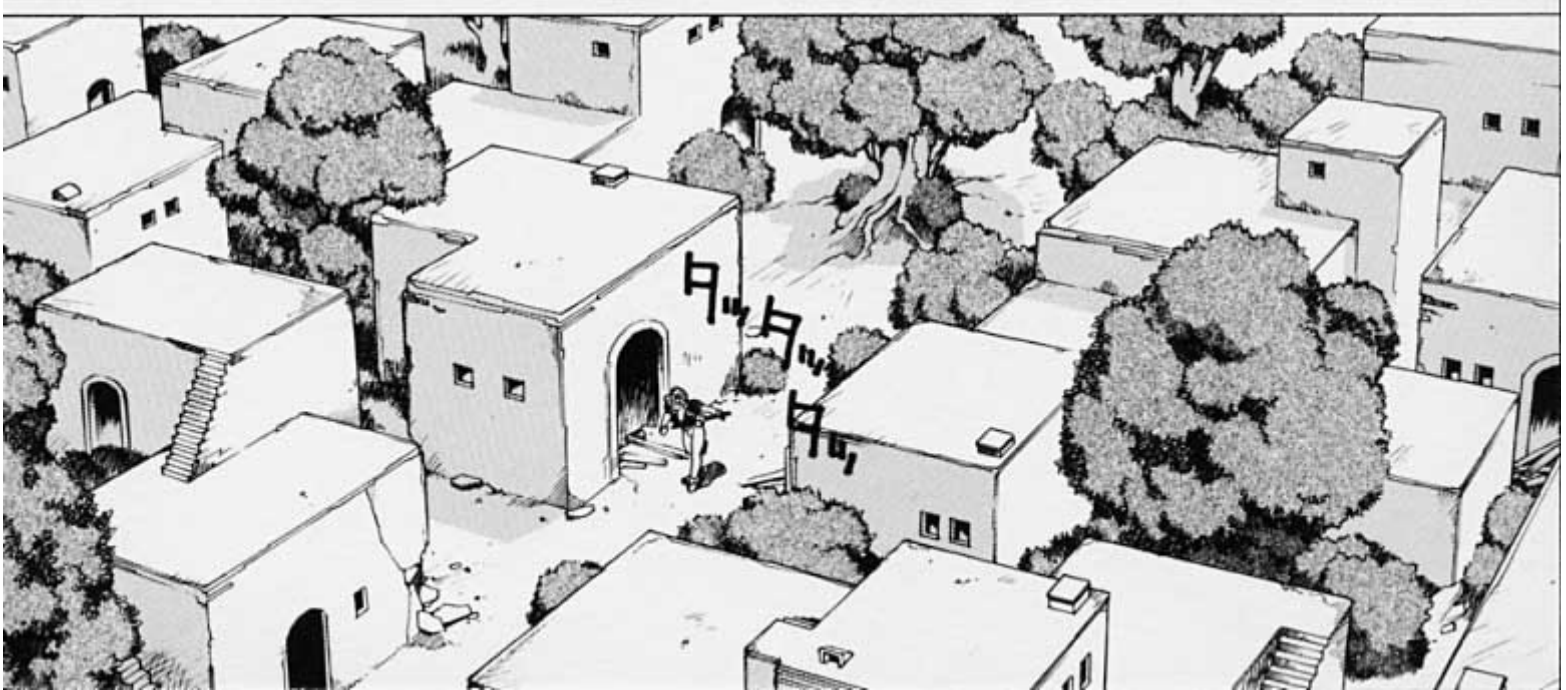
なっ
なに!?

ム……
確かに人がいたはずだが

な
なんなのよ
あのでっかい
鳥さんは
あれは
怪しい……
おい
急げよ！
夜までに
すべて運び
込むんだ！
おっ
テオドラのやつ
もう戻ってきた
のか？
バサッ
バサッ
お～い
どうした
日没まで
周囲の警戒を
するんじゃ
ないのか？
ああ
だけど
ちょっと気に
なることが
……

なに？ 人影が見つかったと？
まさか 傭兵ギルドのやつらが!?
いや 子供のようにも見えたし 何者かはわからないね
しかしここは滅多に人が入ることはないはずだ
おい 銃をよこしな！ 長いやつだ
どうするんだ 今から取り引き場所を変えるとなると……
そう ビビってんじゃないよ
もし 曲者だったらあたしがしとめてやるよ
あんたたちも見張りを怠るんじゃないよ!!
バキッ
バキッ

う〜む
これは
ひょっとして
大当たりか〜!?
教官って
いいカンして
るわ〜〜
ここはひとつ
ゆうべの汚名
返上で……
もっと
詳しい情報を
集めなきゃ


ﾀｯﾀｯﾀｯ

なかなかの稼ぎだな
特に麻薬はいくらあっても足りないほどだ
最近のウッドランドの調子はどうだい？
それは結構なことだ
ほかの街でも品不足のせいか三倍の値で売れてるそうだぜ

近ごろは貴族相手の売買も増えてきてるが
特に媚薬は破格の値で買ってくれるぜ
フフフ……
貴族のやつらは一度ハマると限度を知らんからだよ

今回はテオドラの組織が新種の媚薬をそろえてきたという話だが……
なるほど
またひと稼ぎできそうだな
……

ふ〜ん
廃墟の地下にアジトを作っていたのか
ザッ
ったく
見張りを怠るなと言っておいたのに……
……
あいつとあいつ……
おっあれもか！
スゴイぞ！高額賞金首ファイルに載ってるやつが結構いるな

ようし
調査は
完璧だ!!
フフフ
見つけた♡
早いとこ
ギルドに
戻って……
ひ……
な
なによ
あんた
え?
おっと
動くと死ぬよ
残念だったわ
ねえ
ズズズ
それじゃあ
もっと
かわいいとこ
見せてもらおう
かな
おや?
どんなやつかと
思えば……
結構
かわいいじゃ
ないのさ
あ……
トクン
トクン

しかしデオドラのやつ遅いな
曲者はちゃんとしとめてるんだろうな……
オラオラ
おとなしくしなって
ドタッ
ドン
な
なにごとだ!?
ドカ
ぐっ
ドッ
ああああ
くっ……くううう
熱……熱い〜〜〜
あはっ
ドカッ
ドカッ

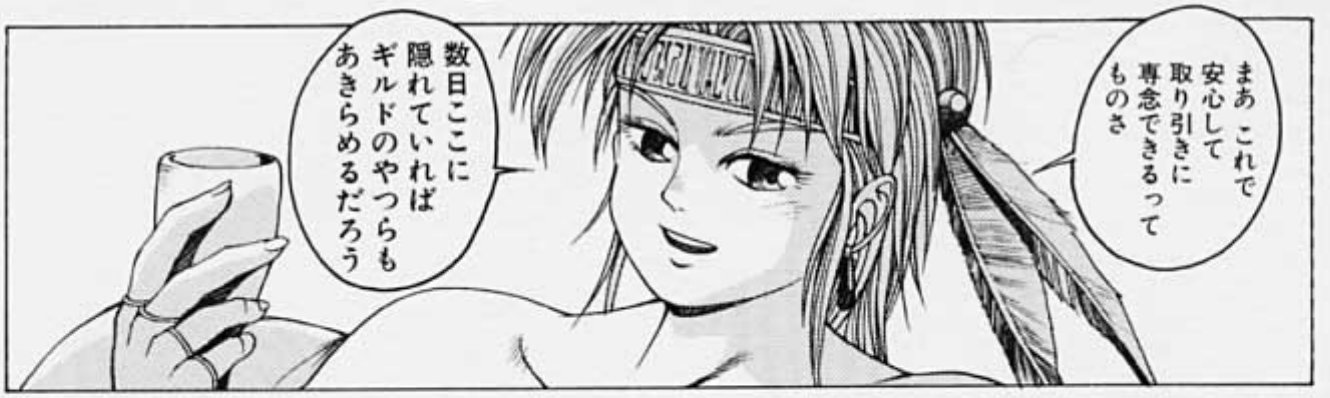
おい
おい
これは
どういう
ことだ!?
どうもこうも
あるかい!!
ギルドのやつが
あんたらの話を
盗み聞きして
たんだよ
いいい
いいい……
こいつに
何を!?
ウフフ
コレを
少しね……
それは……
今回
持ってきた
新しい媚薬さ
取り引き前に
奴隷の女でも
使って試して
みようと思って
いたけど……
ちょうどいい
実験体がいたよ
あン
いやン
はあっ

この薬は全身の感度を高め性欲であふれかえり……
ひたすらのぼりつめていくんだけど……
い……いっ
いく……いっちゃう
もう……いっちゃうよ～～～
い……い……いいい
ビクン
!!?
い……イクのよ!!
は早く……いって……
やだ……なんでいけないの!?
ダメだよいくらのぼりつめても……
決してイクことはないのよ
直接刺激を与えない限りね!
いやああ
そ……そんな……

どうだ
イキたいか？
い……
いかせて……
お願いよ!!
こんな……
だったら
話して
もらおうか
今回の取り引きに
ついてギルドは
どこまでつかんで
いるのかを
そ
それは……
あッ
それじゃあ
死ぬまで
そのままで
いいんだね？
人生の最後が
こんなに
切ないんじゃ
……
く……
さて
どうするの
かな？
ハア
ハア
ハア
は……
話すから
……
なんでも
話すから……
お願い……

…要するにギルドの方はまだロクな情報をつかんでないってことか？
今回は情報の流出には特に気を使ったからな
けどあのガキが戻らなければ
ギルドのやつらがここに来るってことは……
地下に潜っていれば外からはわからないさ

この旧市街はかなりの広さだ
この地下アジトを見つけだすなんてまず不可能だよ


まあこれで安心して取り引きに専念できるってものさ
数日ここに隠れていればギルドのやつらもあきらめるだろう

それじゃあたしはちょっと……
なんだよもうすぐ取り引きがあるんだぞ
フフフだってあいつをほっとけないだろう？

さて……
どうなっているかな？
ハア
ハア
ハア
悪いわねえ
さんざん
待たせちゃって
はッ
早く
イカせて……
早くゥ
もう……
全身の感度も
最高潮だね
ちょ……
ちょっと
半端な
ことは
やめて……
こんなに
ふくれちゃって……
かわいそうに
いやン
じらさ
ないで!!
あッ

グッ
あっうううううんん
グググ
え!?
んん!!
ビクッ
ななにこれ!?
ふたなり……じゃないわね
ヒク
ヒク
へ〜〜〜〜〜変わってる〜〜〜
ウフフそんなにイキたいの?
もう!! イカせてくれるんでしょ!
ねえ! 早く!!
本当にいいんだね?
あっそう
そこ……
キュッ

キュッ
キュッ
キュッ
あッあッ
あうっ
はああ
あん
いいよ!!
すっごく……
今まで
おあずけをくらった分
強烈なエクスタシーを
感じるだろ!!
キュッ
キュッ
イクッ
イッ
くうう
うう!!
ピュピュ
ああ
本当に
イッてる
よ〜〜!!

くうああッ!!
ねえねえこれってどこまで大きくなるの?
こいつは日ごろから相当シゴかれてるな?
!!
ビュ
ビュッ
あぁん
歯を立てちゃ……いいい~!!
おやおや母乳は吹き出すわ……
精液はあふれ出すわ……
ドロ
ドロ
ガキのくせにとんでもないヤツだね

それに
クリトリスも
こんなになって……
これはぜひ
いただか
なくっちゃね
くっ
あ……
女の中なんて
初めて……
あっ
んっんん
は……
入ってる
〜〜〜

ズーーズーー
あうっ
おっ
くああ
ズーー
グチュ
ま 待って……
こ これって……
よすぎちゃうよ〜!!
なによ イキたがってたのは あんたでしょ!!
あたしも たっぷりと 楽しませて もらうわよ!
それに あんたのモノも 中でどんどん 大きくなって いくよ!
ボッ起が とまるまで やめないからね!!
ビクッ

や……
あン
あン!!
アハハハ
たいしたのだね
並の男より
ずっといいよ!!
あたしの
ペットとして
ずっとかわいがって
やるよ!!
い
イキすぎよ……
ダメ……
はあ
あは
あああ!!!

ハア
ハア
ハア
ハア
ウフフ……
もう声も出ないほど
イキまくったか
もう少し
楽しみたいところ
だけど……
そうも
いかないようだね
次のお客さんが……
え……
まったく
スゲェあえぎ声を
出しやがって
これは確かに
取り引きどころ
じゃねえな

いや……あっ
いやぁ
フフフ いい声だこと
あうっ ダメ……
ダメだったら……
あああ
グニュ
ズズズ
ズ
はっ
はっ
はあっ
ズ
いいい
くうう
ズチュ
グチュ
グチュ
タプ
タプ
タプ

熱
ツんあっ
ああっ
ぐふ……
ホラホラ
後がつかえてるんだ
射精したらさっさと交代しな!!
ひいい
あふ
くう

あはっ
はあ
んん
んっ
んっんっ
もっと
もっとォ

あッだ……
出してんん
たくさん出してェェ!!
ピュピュッ
ピュッ
ズシュ
ズシュ
ドッ
ビュルッ
ビュビュビュ
あふん
くう
ドクッ
ドクッ
うっ
あッあッ
グッ

くう
お……あふ
ギュッ
ギュッ
ク クリトリスが……
ゲッ
ギュ ギュッ
はじけちゃうぅ
くううう
ピュ ピュ ピュ
ビクッ
ビクッ
これは調教しがいのある娘だよ……

ドーン

ドドド

うわぁ

ズズズ

な……

何が……

ジャリ

ギ……
ギルドの
やつらか!?
おっ!
やっぱり
いたぞ
いくぞ
!!
おう
!!
くそっ!

ぶはっ♪
どどうしちゃったの!?
パイア！大丈夫か!?
あれ？教官！
君がなかなか戻らないからみんなで捜していたんだぞ
なんでここがわかったの
フフフ
通気口を通って君の声が地上に鳴り響いてたぞ
そ……そんなに？
まあとにかく無事で……
教官～～!!いちゃついてる場合じゃないっスよ!!
ああすまん
あそうだ！

それじゃ
ザコの掃討は
任せたわよ!!
う〜〜〜
たちすぎ……
あの女が
いないわ!
ぐずぐずしてたら
逃げられちゃうよ
!
バイア
どうするんだ!?
今回は
いい稼ぎに
なりそうだぜ
へへへ……
あ〜〜〜
高い首
とってる!!
なんだよ……
助けてやった
のに〜〜〜
あたしが
見つけたん
だからね!
少しは遠慮
しなさいよ!!
くそ!
油断
したか!

チ……
苦労して
集めた
商品が……
これだけしか
運び出せない
とは
ん？
もらったあ!!
せいっ
あたしと
したことが
さっさと
殺しておけば
よかったよ!!
フフン！
もう逃げられ
ないよ!!

いくぞ!!
それっ
このっ
フフフ
気合いだけは一人前だけど
少々腰にきてるようだな
くっそ〜〜
ゆうべから何回やってんだろ……
はっ
くっ……
ビビ
くそっ
ヨロ
うっ
ビビビ

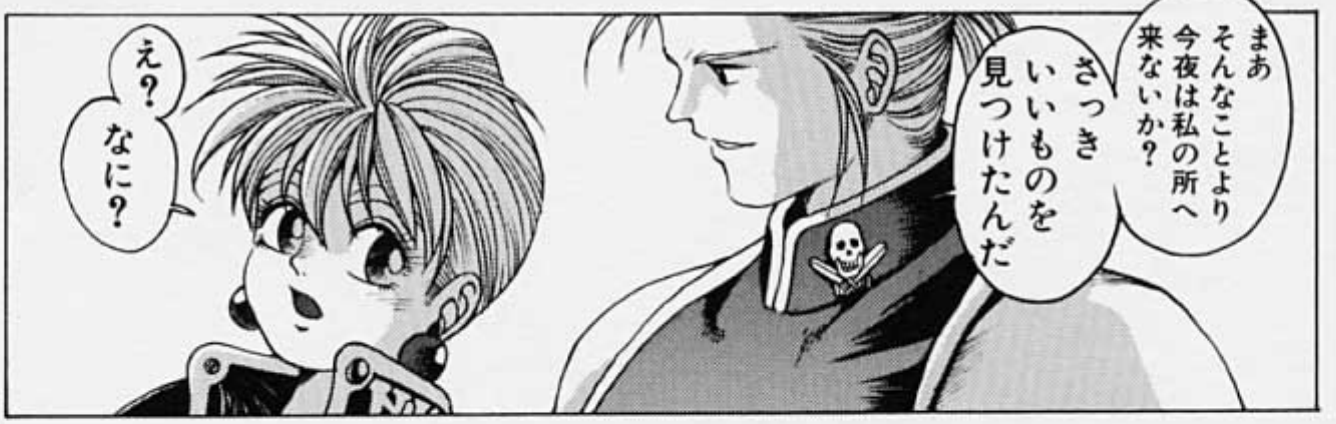
甘い!!
あっ
しまった……
これで終わりだ!!
わっ
フフフ
お前の方こそ観念するんだね
う～～～
ホラホラ
あたしの剣は切れ味が自慢なんだよ
もう少しで首まで……
くく……

だれがやられるか!!
!?
このっ!!
な……
はっ
なんてことを……
く……

いただき!!!
ぐう
あっ
き……
貴様!!
とどめだ!!
ヒュイイ
うわっ
覚えといでよ
次に会うときは必ず殺してやるからね!!

逃がすか!!
わ……
こら～～～逃げるな～!!

夜までにギルドに戻れって言ってあっただろ!?
何考えてんだ!!
あン
ばしっ
そのくらいでいいだろう
いきさつはともかくこうして成功したんだから
へいへい
しかし君もこれからは自重してくれよ
ごめんなさい
あたし……


まあそんなことより今夜は私の所へ来ないか？
さっきいいものを見つけたんだ
え？
なに？

ねえいいもの？なによ？
だから帰ってからのお楽しみ
ピンピンになっちゃうよ

II second

う〜む
どこもかしこも……
ロクな仕事がないなあ……
不景気のシワ寄せはすべて下っ端にくるんだから
最近はゴブリンの数も減ってきたし……
おっ
いたいた
やっぱり頼みの綱は体だけか
まいいけど

よォ パイア
今日もでかい乳してるなあ！
わっ な なによ！
なんだよ 仕事にあぶれてんのか？
こんな場末の酒場に来たって何もねえだろ？
うん
あ！
それで？ 何か用なの？
それとも単に触りに来ただけ？
いや いや まあそれもあるけど……
ちょっとした仕事があるんだ
手が空いてるならぜひやってくれないか？
え？ なに？ そういう話なら……
いや実はおれがやる予定だったんだけど
ほかにワリのいい仕事が来ちゃってさ
あ～～～ フタマタかけてんだ それって規則違反じゃないの～～～
…とは言ってもこのままじゃ食いっぱぐれちゃうし…… しょうがないか
いや～～～ やっぱり持つべきものはパイアだな
はいはい それじゃ奥の部屋で……

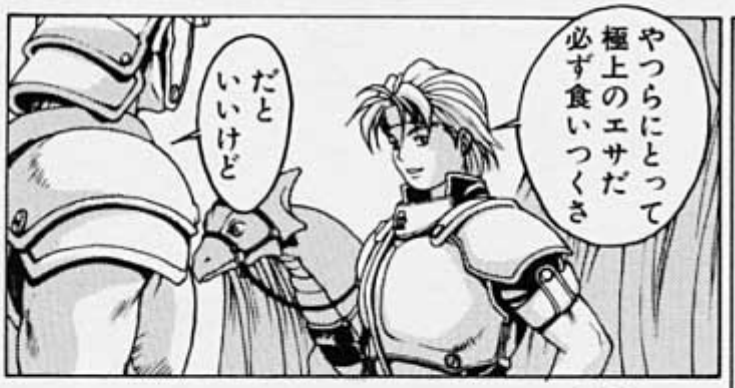
あっ
あっんっ
ねねえ 仕事の話じゃないの？
気にするなついでのことだ
何がついでよ ホントに勝手なんだから！
あ……
まあまあ 話だけじゃ間がもたないと思って……
仕事ってのはここの見回りだよ
う……
あ ここだこの谷に古代都市の遺跡があるだろ？
え～っとなんだっけ……
でもあそこってなんで？何もない所だよ
今さら
近ごろあそこにオークの群れが住みついちまってキャラバンなんかに被害が出てるらしいんだよ
ふ～ん 最近見かけないと思ったけどいる所にはいるものね
あ……
うんあそこなら知ってるけど……
んん
それでその連中を退治すれば
い……
いっいいわけね？
そういうこと

でもそれってあたしがいつもやってることじゃないの
結局ただのザコ退治でしょ
そ そうでもないぜ くう
倒したオークの首は別料金になってるんだ
たくさん倒せば本来のギャラ以外にも報酬が多くもらえるってことさ
おっ
ゲゲゲ
どうだ？悪くない話だろ？
は…あっ
そ そうか
お得なんだね……
そうそうとってもお得なのさ
はっ
あん そこそこ
あっあっ
い…いいい
くうう
ギュッ
ギュッ

やれやれ
結局クズ仕事を押しつけられた感じだな
その上タダでやられて……
仕事前にやっちゃうと調子出ないのよね
体が火照るから……
ん～～～
こんなことならもう何発か犯された方がスッキリするのに……
あいつもハンパなんだから～～～
ん…ん
あン
グニュ
クエ～～～
え
なに？
もう着いたの？
ちえっ
オナってるヒマもなしか

どうだ？
エサの動きは
問題なし
予定どおり
遺跡に
到着だ

全員の配置は
終わってるな
ああ
後は連中が
エサに
食いつくか
どうか……


やつらにとって
極上のエサだ
必ず食いつくさ
だと
いいけど

失敗すりゃ
クビじゃ
すまないぜ
クビより
パイアの
方だよ

あいつが
いなくなれば
人生の楽しみが
一つ減っち
まうぜ
気楽な
やつだな

ようし
行くぞ！

え〜っと
確かにここのはずだけど……
周りには何も見当たらないか
群れが動き回ったような跡もないし……
変だな
結構でかい遺跡だからなあ
中にうじゃうじゃということもありうるか……

う〜ん
なによ
オークの姿どころかここにいた形跡さえ見当たらないじゃない
あいつら〜〜ちゃんと依頼の確認とってんのかな？
いなけりゃいないで手間は省けるけど
もう帰っちゃおうかな
え……

な……
くっ
しまった
見ろ見ろ
おれの言ったとおり
やっぱ女じゃねえか
！
おれは鼻が
きくんだよ

だ
だれよ!?
けどまだ
子供みたいだぜ
おれは
年齢制限
なし！
それに体の方は
しっかり
熟してるぜ

一人でのこのこ
こんな所へ
来たのが
運のツキだ
くくくく
たまらねぇ
三年ぶりの
女だぜ！

おれたちを
知らねえってことは
やはり追跡隊とは
関係ないらしいな
けどよォ
見られた以上は
さっさとかたづけて
ズラかった方が……

あんたたちは
何者よ！
いい年した
男どもが
昼間から遺跡で
集会なんて

おいおい
もったいないこと
言うなって
久々の
エモノだぜ
やること
やってから
かたづけても
遅くはねえだろ
うくむ
こいつら
ごぶさた組か……

くそ……
なんでこんな
……

あっ
それっ
いただけ！
く……
くそっ
ガク

あぁっ
くぅ〜〜〜
こいつは
スゲエや
おいおい
おれにも
触らせろ！
てめェ
押すなよ！
待て待て
順番だ！
はぁ
あッ

んっ
あ
あ

おい
見ろよ
こいつ
なんだか
立派なモノが
生えてやがるぜ

へへへ
こいつは
フタナリの
なりそこないって
やつか
あン
あン
ホレホレ
しっかり
シゴいてやる！
はあ！
はっ
はっ
おお！
どんどん
勃(た)ってくぞ
！
ギュッ
ギュッ
ギュッ
んんん
ん…あっ
ビクン
ビクン
くくく
こっちも
ガマンでき
ねえ!!
ぐるん

ああああ
人数が多いんでな使える穴は一度に使わねえと……
え……
あっ
いい
はあ
はっはっ

あん
ああ
ん
ん
ん

はああ
あッ
いいいい
ぐううう
たまらん……
ドロッ
はあ……
すごい量……

ううう
このおれが
数刻ももたん
とは……
へっ
情けねえ
やつめ
うおっ
なんだこりゃ!!
な?
ぐ…ぐうう
強烈なあ〜〜
ぐおお
おお!!
くうう
あふっ
はっ
いいい
むぐっ
いいよ!

ドクン
ドクン
ん……
んぐ……
ぐ
ガチョ
トチョ
んんん
ん……
濃い……
ゴクン
ピュ
ピュ
こいつガキだと思ったら……
残らず飲み干しやがったぜ
あ……

はあ
はあ
突いて
突いてェ
ズッ
ズッ
あン
あっあああああ
だ……
出してェェ

お おなかの中ではじけてるぅぅ!!
おっ
おっ
タプッ
タプッ
うん
ビュウ
ビュウ
ビュッ
ビュッ
タプ、
ドクッ
いくっ
くうう
ううん
ビュルル

当たってるう
奥に……
あっ
オラオラ
やられっぱなし
じゃなくて
腰くらい使って
みろよ!!
はい
はい
腰!!
はいっ
はいっ
キュイッ
うおっ
おっ
おお!!
はっ
ちいい

んあああ!!
精液がからみついて……
気持ちいい!!
うぅん
んんあ
あふっ

スゲエや
こいつ母乳まで
噴き出しやがった
妙に腹が
張ってると
思ったが
こいつ妊娠して
やがるのかよ
それなら
子宮の奥まで
かき回して
やらねえと……
あっ
ああ
くる……
くるぅ
あはっ
それじゃあ
おれも付き合って
やるか
くううう
そ
そんな……

いやああ
あンあっ
ぐうううぅ
あっいっ
くうう

へへへ
本当にいい反応を示すやつだぜ
それじゃこいつを使ってみるか
や……そ、そんなもので……
おいそいつは
そうさ壁面登りのグラブだよ
ああ
あっくああ
あっひいい
ぐうう

はっはっ
はあ
いた!!
おっおお
いい……
ビクン
ビクン
ビクン

はあ
はあ
はあ
う……
く〜〜〜
一滴残らずしぼり出した感じだぜ
う……
腰がいかれたか……
フフ
このままこいつも連れていきてえぐらいだが……
今は逃亡中の身だからよ
ちょっ
ちょっと
あ あたしは生かしといた方がお得だよ……
へっへっへっ
最後に断末魔の表情を見せてもらおうか

な……
なにィ!?
うおっ
バサバサ
今だ撃てェ!!
しっかり狙えよ!
続いて突撃班行くぞ!!
おおっ
ビュバッ
ぐう
ちい!!

いいか 殺すんじゃないぞ!! 生け捕らないとギャラが減る!!
こんな状況で狙ってられるか
急所に当たらんように祈ってろ!
ワナだ 逃げろ!! ぐはっ
逃がすかよォ!!
ギルドのみんな!?
うわわ
妙なモン おっ立ててるから なんだバイアか
この胸が見えないの? ちゃんと確認しなさい!!

きりきり歩けい!!
こいつら強盗・殺人・強姦となんでもありの凶悪犯連中さ
終身刑をくらったところを三日前に脱獄しやがったんだ
それで?なんでいちいちあたしを巻き込むのよ〜〜〜
ガセネタまでつかませて
あいつらあれでも傭兵あがりのプロだ正攻法じゃこっちの被害もバカにならんだろ
連中はブチ込まれて数年たってたそうだからお前をエサにすりゃ無条件で食らいつくと思ったんだよ
人をなんだと思ってんのよ
そう怒るなってお前にもちゃんと報酬は出るんだから
当たり前よあれでノーギャラじゃたまったもんじゃないでしょ!
…ったく

なんでここに乗ってんのよ
タンデムシートじゃないのに！
あれ？冷たいなあ……
仲直りのための会話でもと思ってんのにさ
何が会話よ
タダじゃやらせてあげないわよ
と言いつつベストのホックをはずしているのはなぜ？
バカ？胸が張ってとめられないのよ！
こりゃ失礼
エへへ
どんな状況でもしっかり感じる敏感な体とズ太い神経はさすがパイア！
ちょっと……だから～～～
クリクリ
クリっと
……
あっ
ダメよ
やっとおさまってきたのに……
勃っちゃう勃っちゃうよ～～～
…ホントに

半端なやつなんだから……
セコイことやってないでドカンとかましなさいよ男でしょ!!
おっと♡
そうこなくてはな
言っとくけど……
帰るまでに5回はイカせてくれなきゃ許さないからね
う…く
ちょっと……
これで5回はキツイなあ～～
あ あれだけやられて……
このしめつけはなんなんだ!?
フン
当然よ!

III third

～Battle I～

七千！
七千九百
七千二百
安い安い
かの魔導師デルファス様が腕によりをかけた肉奴隷だ！
そこらの闇市の安物とはワケが違う！
おお！いいねいいねェ！もうひと声!!
九千五百
九千！
九千三百
一万三千!!
商品番号12はサージェス男爵へ！
さて お次は豊胸加工を施した13年物だ～!!
フフフ……

デルファスよ
貴公の腕も
たいしたものだな
あれだけの肉奴隷を
短期間に造り
あげるのだから
いえいえ
すべて
グラーシェ卿の
お力添えの
たまものです

なに……
礼には
およばんよ
我々は持ちつ
持たれつの関係
貴公は望みどおり
研究を続け 私は
宮廷での活動資金を
得られるということだ

活動…で
ございますか?
フフ……
それ以上
聞くなよ

ところで
次はどこで
素材を集める?
そろそろ
この近辺は
離れた方が
無難と思うが
は
ウッドランド
周辺が適当と
……
あの地は小さな村が
多数点在している上
治安も悪く
人の失踪など
日常のこと

すでに配下の
オークどもが行動を
起こしておりますので
そうか……
では頼んだぞ

おりゃあああ!!!
ガアア

やれやれ
今日はやけに数が多いな
新しい群れでも入り込んでるのかな……
え!?
カアア
このオ!
ウガ!!

わっ
ええ！
ちょ
ちょっと
待ってよ
ガルル
このっ
ギイイ
!!

あら？
パイアさん
あ……
なんだ
ファーラじゃない
助かった～～～
派手な騒ぎが
聞こえてるから
だれか襲われてるの
かと思ったわよ
オーク相手に
てこずるなんて
調子でも悪いの？
いや～～～
ちょっと
油断してて……
あ～～～
わかったぞ～～～
ゆうべ
やりすぎちゃって
腰にガタが
きてるんでしょ
ね？
ち違う
わよ～～～
ね？
ゆうべは
5回しかやって
ないもの……
ファーラこそ
こんな所で
何やってんのよ
修道院の方は
いいの？
あ
そうそう
そのこと
なんだけど……

最近この辺の村々で若い娘たちが失踪しているらしのよ
この三日で五人も
若い娘たちってところがいかにも怪しいわね
それで神宮戦士の元へ捜索依頼がきたというわけよ
それで？
何か手がかりは？
今のところはなんとも……
ただ この辺りでやたらとオークが動き回っているらしくて……
何か関係があるのかと思ってるんだけど
そういえば急にオークの数が増えてる感じはするわね
おかげでいい稼ぎになってるけど
でもそういうことなら傭兵ギルドに依頼すればいいのに
その手の仕事はいつもやってるよ
貧しい村だからそんな大金はないらしいのよ
やれやれそれじゃあ話にならないなあ……
ねえ パイアなら個人的に引き受けてくれないかしら!?
え？
個人的って……
要するにタダ…でしょ？

私は戦いそのものは問題ないんだけどこんな依頼の経験はなくって……
パイアが手伝ってくれれば……
でもねぇ
あたしだって一応ギルドの戦士だし……
報酬なしってわけには……
報酬になるような金品は持ち合わせてないけど……
は？
ん……
ん……
んん……
ちょっとなによ いきなり!!
あン
ちょ……
だからせめてあたしの誠意で納得してもらうしか……
だからだれもやるって言ってないでしょう!!

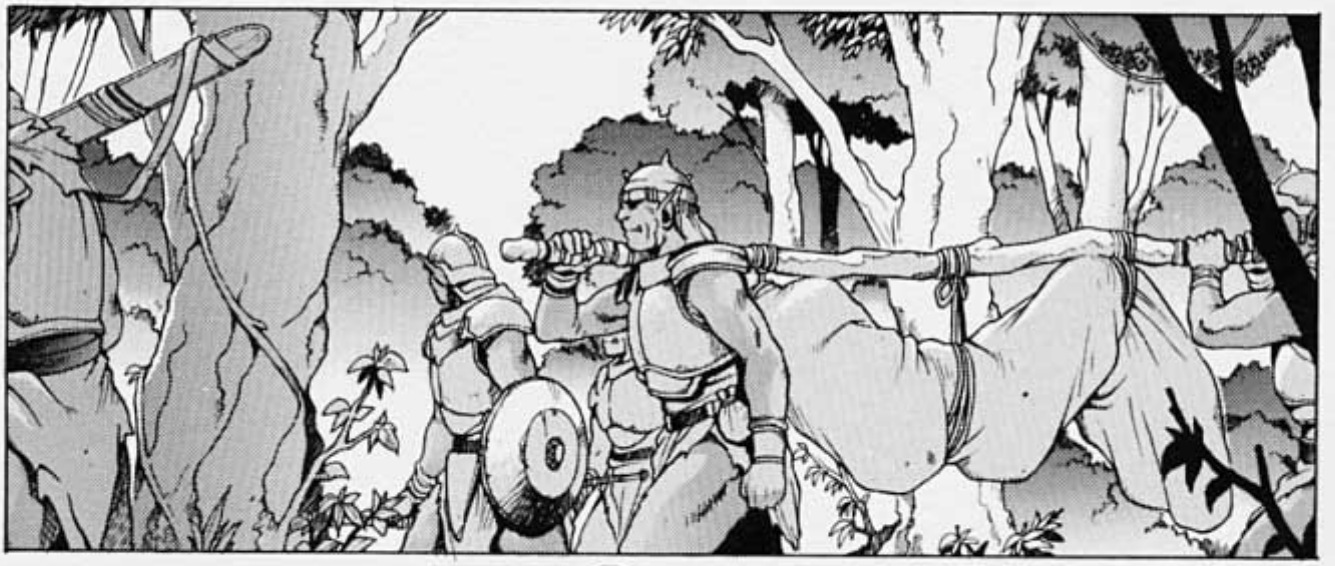
ダ……
ダメだって……
こんなことで
仕事を受けるわけには
いかないのよ～～～
あら？
でも体の方は
ちゃんと反応
してるみたい
だけど……
これは私の
誠意を受け取って
くれたと解釈できる
のではなくて？
そ それは
条件反射
みたいなものよ
ウフフ
口で体裁を
つくろって体で
本音を語るなんて
パイアらしいじゃ
ない
ファーラ……
目が怖いよ
あッ
ファーラったら
聖職者がこんな
ことやってて
いいの!?
あら
それなら
大丈夫よ

私は美と愛の女神に仕える者ですもの
愛があれば求め合うのが自然のことだわ
私の方に愛はないんだけど……
う〜〜〜女相手は苦手なのよ〜〜〜
あたしはずっとパイアのこと思ってたのよ
こうして再会できたのもきっと神の導きというものよ♡
あ
ん……そこ……
あ…うん
ギュウ
も…もう……あたしの体ってどうして……
こんなに感じちゃうのよ〜〜〜〜〜
まあスゴイ♡
ちょっと見ないうちにこんなに成長しちゃって
ビクッ
はっ
はあ……

ああ!!
あン
す……
ごい……
ファ……
ファーラ……
腰……
激しすぎ
……
あッ
しっかりと
払い込ま
なくっちゃ
だって……
これが報酬
なんだから……
あン
ねじれ
ちゃう～～

ス……スゴイ
パイアったらあたしの中でどんどん大きくなって……
余裕で奥まで突き上げてくる〜〜〜
グニュ
グニュ
はっ
はうっ
ブルン
い……いいいっ
くうううう!!!
ビクッ
ビクン

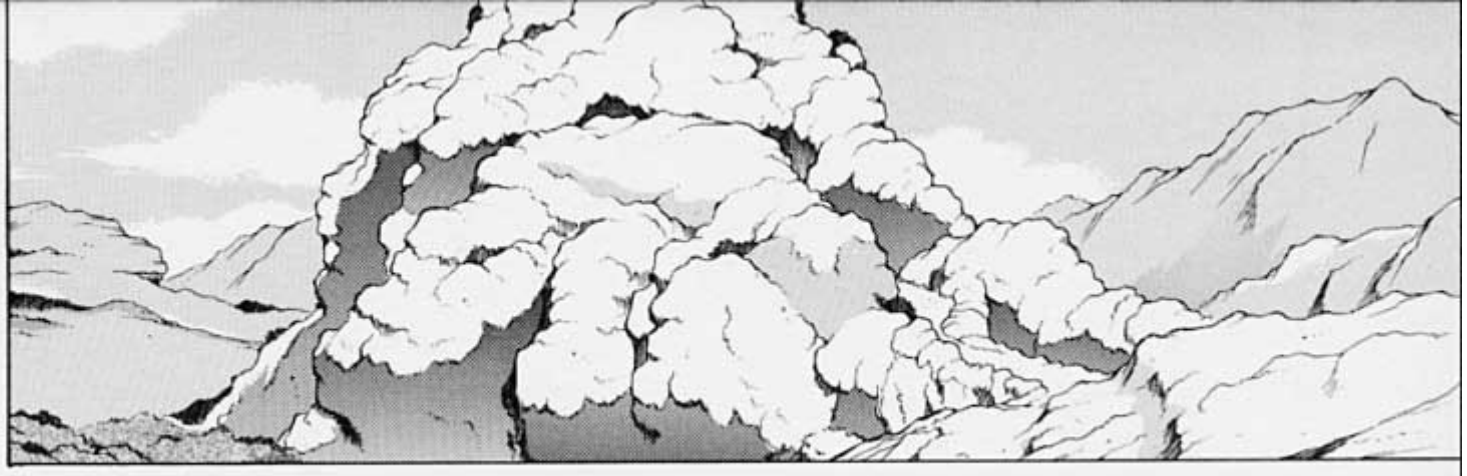
なんだか
どさくさのうちに
あたし一人が損を
しているような……
あら
そんなことは
ないでしょう？
しっかり
イキまくって
いたんだから♡
言っとくけど
こういうのは
これっきりに
してよね
仕事は
ちゃんと……
はいはい
こういうところは
結構マジメなのね
さて…と
それじゃあ
どこから……
ピクッ
ファーラ
静かに!!
え？
こっちよ！
あの
ちょっと
バイア……

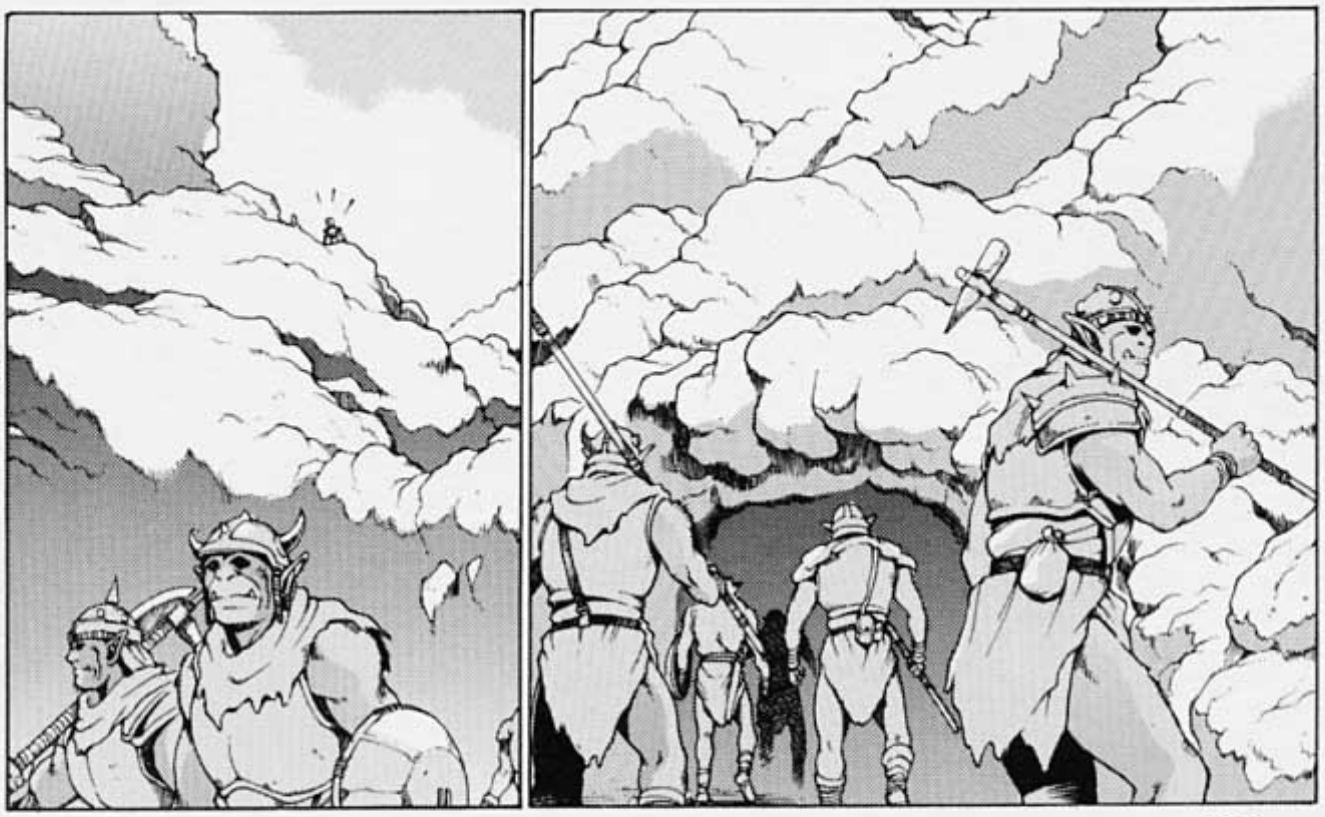


やっぱり
スッゴ〜イ
なんで
わかったの？

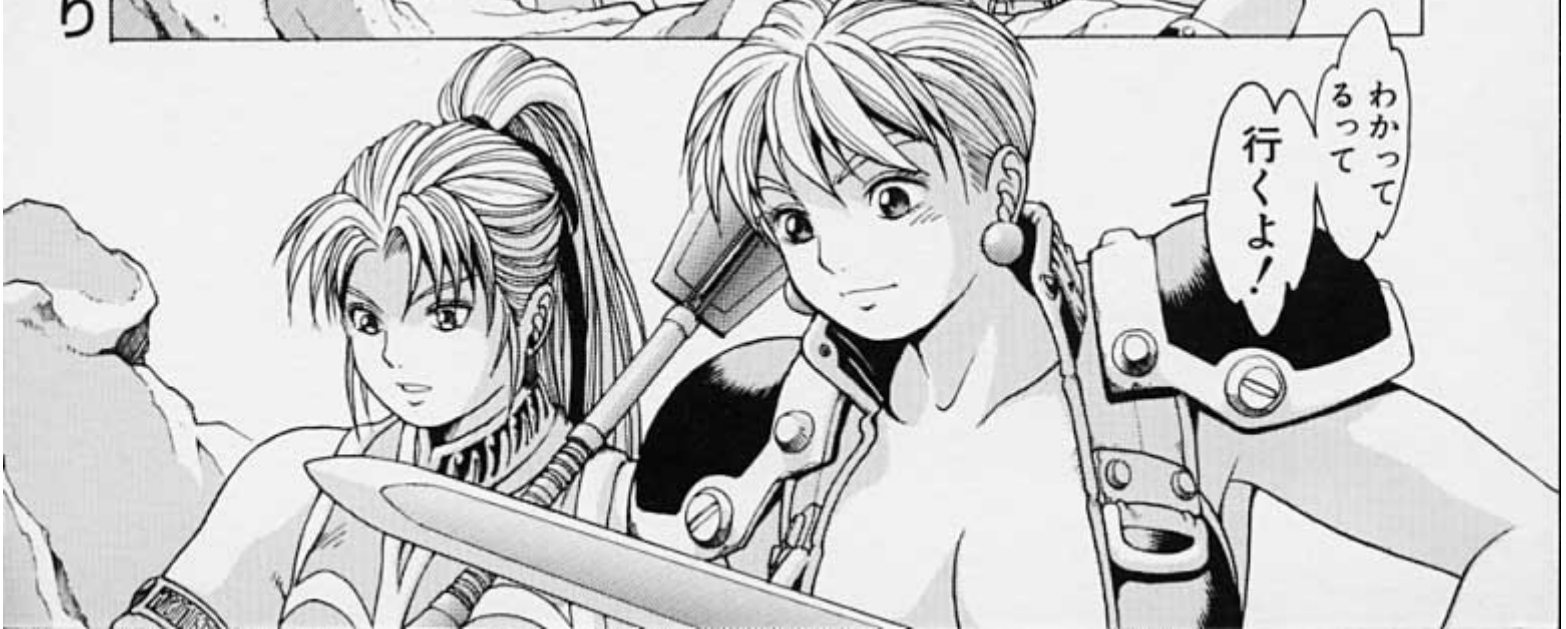
あいつら臭いから
遠くからでも
わかっちゃうのよ
へえ〜〜〜
さすが
プロね

どう？
あいつら
怪しいと
思わない？
あからさまに
怪しいわよ
なんかでっかい
荷物しょってるし





PUNKY KNIGHT Ⅲ-①／おわり



III third

～Battle II～

コン
?
はッ
!!!

おそまつな見張りね
所詮オークか
まそういうこと
さあ気合い入れていくよ!!
ずいぶん張り切っているわねえ
だってノーギャラだからせめてオークの首で稼がないとね
悪いわねえタダで手伝ってもらって……
!
じ
いいや……別にイヤミで言ったわけじゃ……

ムッ
これは
いかん!
おい
全部所に
警戒態勢を
とらせろ!
どうした!?
デルファス様
一大事で
ございます!
なんだ
騒々しい
手術の準備中は
声をかけるなと
言ってあるだろう
第一階層の
監視からの
映像です
警備のオークを
倒して侵入
してきました
中は意外と
広そうだね
気をつけて
どこから来るか
わからないわよ
なんだと!?
この女の胸を
見てください
うぐむ
デカイな……
いいえ
そうではなくて
胸についてる
エンブレムが……
わかって
おるわ
傭兵ギルドか……
見つけられるにしては
やけに早いな

でもオークのやつらなんで娘たちをさらったりしているのかしら？
アレよアレ
欲求不満なのよきっと
なによそれ
オークのメスの数が不足してると人間の女をさらってやっちゃうらしいのよ
今はちょうどやつらの繁殖の時期だし……
なるほど……そういうことが
単にさらわれた娘たちの捜索を依頼されただけのようだな
では一気に始末して……
ふ～ん
村人の失踪原因はその辺のことだと思うんだけど
いや殺してはいかん
オーク総動員して私の指示どおりに誘導するのだ
はっ
やはりこの地へ来たのは正解だったな
貴族どもが喜びそうないい素材ではないかフフフ……

このっ
いきなり出てきやがって
奥まで引き込んで待ち伏せか……
オークにしては上出来じゃないの
捜す手間が省けてちょうどいいわ
一気にいくわよ!!
このっ
ニュ

オラ
オラァ
はっ
おい
状況はどうだ
予定どおりだ
長髪を足止め
している間に
巨乳を第三階層に
おびき出せたぞ

あらら
変な所に出ちゃったぞ……
行き止まりだ
マズったなあ
オーク狩りに夢中になりすぎてはぐれたかな
急いで合流しないと……
まあそう急ぐこともないだろう……

うわっ!!!
くうう!!
せっかくここまで来たのだ
もう少し遊んでいってはどうだ?
お前は……
どこかで見た顔ね
そうだ! ギルドのブラックリストにあったはずよ
デリ……なんとかって……
デルファスだ!

光栄だな
名高いウッドランドの傭兵ギルドがそこまで注目してくれるとは
さすがは闇の大魔導士と言ったところか
フフフ
バッカじゃないの!?
ギルドのリストじゃ裏の変態商人ってことになってるよ
それに今の魔法だってちっとも効いてないぞ!
さては呪文を間違えたんじゃないの!?
フッフッフッ
今のは淫魔の暗黒魔法に私が改良を加えた強力なものだよ
一瞬のうちに強烈な快楽が全身を貫くのだ
フン
そんなモノとっくに経験ずみよ!
第一効かなきゃなんの意味もないわ
フフフ
剣の達人に手足を鮮やかに切り落とされれば瞬間的にはなんの苦痛も感じないというが……
はあ?
それと同じようなことだな
なんだかよくわかんないけど……

あんたの首を落とせば終わりでしょ!!
おっと
ハハハハ まだわからんのか!?
お前はすでにかつて経験したことがないほどの快楽に達しているのだ!
しかしあまりの激しさゆえに……
肉体がすぐには反応できずにいるだけなのだ
ったくうるさいやつめ
あたしはなんともないって言ってるでしょ!!
さっさと下りて……
え?

な
なんで
こんな……
ホホォ……
思った以上に
反応がいいようだ
え!?
ちょ……
ちょっと……
ポヨン
ピチャ
ピチャ
ポタ
ま……
待って……
ククク……
イって
しまえ……

ドカッ

ジュウウウ

こ
こんな……

あッ
きてる……

ゲッ

きてるゥ……

ゲゲ

はあ
ああ

くぅあぁ
あ!!

はあッ はッ
ビクッ
と……止めてェェ!!
やや……こやっ
両性具有なのか!?
ズッ
ピクピク
いや 射精しないところを見ると一応は陰核というところか……
グッ
ダ……ダメ!!
触っちゃダメェ!!
ワハハハハ かたいことを言うないや実にかたい!!
もっともっとかたく大きくしてやろう!!

……!!
……!!
どうした
どうした
こんなにシゴいて
やっておるのに
遠慮せずとも
もっと声を
出さないか!!
ビカ
ビカ
ガク
ガクガク
も……
もう……
知らない
から……
どれ……
ひとつ内側からも
試してみるかな
私は素材の品質に
うるさいのだ
ひっ
いいい
グイ

#PUNKY KNIGHT Ⅲ-②／おわり

おかしいなあ……
どこにも見当たらないじゃないの
ズズ
！
パイア!?
あら……

III third

～Battle III～

はあ
はあ
あ……
うくむ
なんとも信じられぬほどの名器ではないか
これまでに収集した素材とはまるで比較にならんぞ
デルファス様ご無事で!?
当然だ
それどころか十分に堪能させてもらったぞ
こうなれば集めた娘どもは後回しだな
まずはこいつから手をつけるとするか
おい
こいつをすぐに工房へ運び込め
はっ

こ この……
放せったら!!
フフフ
あがいても
無駄だ
お前は
次の競売のための
目玉商品と
なってもらう
な 何をする
つもりよ!?

そう恐れることもない
お前は肉奴隷に生まれついているような体をしているからな
そう大がかりな手術にはならんだろう
や……やだ〜〜〜手術はやだよ〜〜〜
ファーラったら何やってんのよ……
デルファス様
ムッなんだ!?
!
もう一人の女も捕獲に成功いたしました
いかがなさいますか
わ〜〜〜!やだやだ
気持ち悪すぎ〜〜〜
あっいや……
そんな所入ってこないで……
よくやった
しかし早急に引き離さねば女の体液が残らず吸い取られてしまうぞ
はっ

その女も予定外の収穫だ
拘束した後は適当に楽しんでも構わんぞ
これは有り難きお言葉
ウヒヒ
…というわけだ これでお前の最後の頼みの綱も失ったということだな
もぐぐぐ 間抜けなファーラ
人のこと言えないけど
わっ な なに!?
ヤブ医者の中には麻酔もせずに外科手術を施す者もいるそうだが
私はそのような無神経なことはしない
くっそぐぐぐ いよいよマズくなってきた
う……うう……
ねえ……これってちゃんと効いてるの?
その装置は痛みを感じる神経のみをマヒさせるものだ
従って意識を含めてほかの感覚はすべて覚醒したままなのだ
フフフ わかるか?
ちょっと……
それって……

さあ 諸君 準備はいいかな?
はっ すべて整っております
冗談じゃないわよ
このままで手術なんて……こら~~~
ダ ダメよ そんな……
やはり仕事というものは楽しくなければ長くは続かない
お前のもだえる姿を見ながらの方がやりがいがあるというものだ
言っただろう 痛みは感じないと
痛みだけはな フフフ……
!!!
キラッ

ああ
はっ
はあ!!
くううう
デルファス様も
イキなはからいを
してくださる
あっ
あン
神官戦士様の
中に出せるなんて
最高だぜ
いや……
中は……
ダメエ!!
ビュル
ビュッ
ビュッ
ビュル
あああああ
いやあ
ああ
お い後が
詰まってんだ
早く
済ませろよ

ズビュ
ビクッ
んんん
ぐふっ
グチュ
グチュ
ピュウ
く……はあ
ピュピュッ
グチュ
グチュ
はああああ!!
ドクッ
ドクッ
ピュピュ
ピチャ

あ……
あああ
ぐ……
あ…はあ
ビクッ
ビクッ
カチャ
グチュ
クチュ
ビクッ
ザリ
ザリ
ザリ
ビュッ
ドクドク
どんなものかな?
クリトリスを縦に切り裂かれるなどそう経験できることではないぞ フフフ……
ビュルルル
くあっ
あ 熱……
ピチャチャ
クチュ
クチュ
サク
サクッ
い…ああ
が……

ビュッ
ビュッ
ビュ
ドクン
ドロ
グニュ

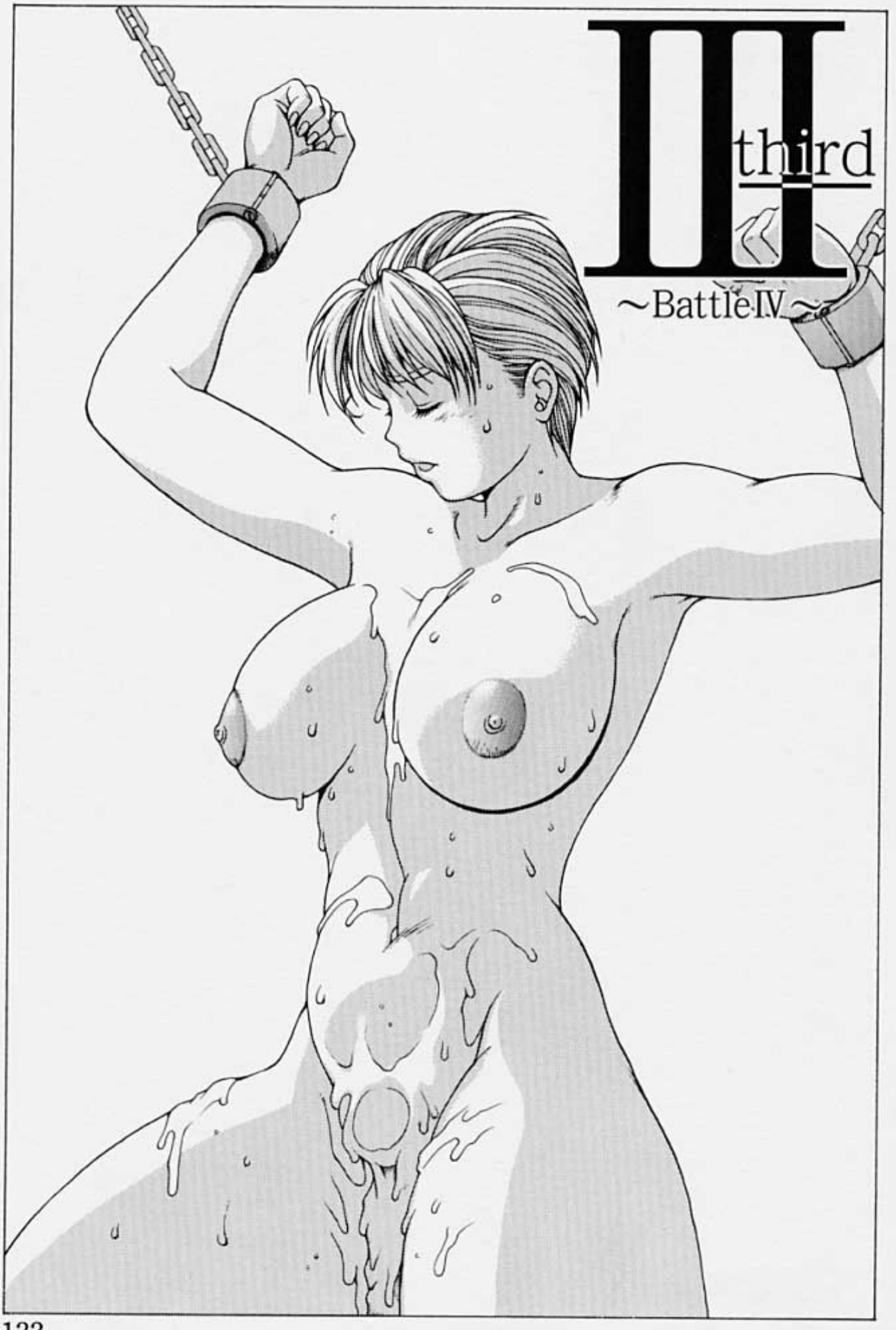
ん……
はっ
ニャラ
ようやく気づいたか
！
さすがに途中で気を失ったようだが
普通の者ならその前に気がふれてしまうところだ
大したものだなお前は
くそっ
ダメか……
ガシャ

見事なものだろう?
手術の傷跡すら私の魔法で跡形もなく消えてしまっている
一体何をしたのよ!?
あ…そうだあたしの体……
なんともない!?
下の方に少し違和感があるけど……
そうか何をされたか知りたいかね?
知りたいだろう?
いや……その……
ビクッ
ビクッ
え……
ええ!?
この感じは……

はあっ
あっあぁ
グニュ
クニュクニュ
おっ
いい
いいい
ビクッ
ビクッ
どうして
こんなに
感じて……
陰核の感度を
数十倍に
高めているため
こうして軽く触れた
だけで勃起してしまう
そんな……
ただでさえ
感じやすいのに
……
ムムムム

さらに
こうして皮をムけば
空気の揺れだけでも
強い刺激を
感じるのだ
くああ
か……
感じるぐぐぐ
しかし私が単なる
感度の向上のためだけの
手術など
行うはずがない
ひいいいい
あふ
はっ
ウハハハハ
お前に新たなる
快感を与えて
やったのだァ!!

PUNKY KNIGHT Ⅲ-③／おわり


III
third
~Battle IV~

あっ
ああ……
あたしが……
射精してる!?
ウハハハ
陰核内部を
精液が駆け巡る
快感はどうだ!?
はっ
はっ
大陰唇部に
高性能の睾丸に
恥丘内には
大生産力を誇る
精嚢……
そして
感度を飛躍的に
高めた陰核内に
長大な精管と……
あっ
乳首に至っては
高感度の物へと
換装してあるのだ
ああ
この
感じ……
ヒヒヒ……
まるで
胸の先端に
陰核がついている
ようなものだ

はあああ!!
はっ
どうだ？射精なみの快感で母乳が噴き出すだろう!?
くぅ
あっ
たまらない……
さらに……ここで女本来の快感を与えれば
合わせ技でさらなる絶頂感を得ることができる！
や……
ひっ
ちょ……ちょっと

んんはぁああ!!!
タプ
タプ
ズシュ
ズシュ
ズシュ
グチュ
グチュ
ギュウウウン
う…く
以前にも増してよく締まるわい!!
はぁ
ああぁいい
ドクン
ピュルル
ピュ
ピュ

ダ…ダメ……
これ以上出せない……
フフフ……
この恥丘内精嚢(せいのう)はこうして刺激を与えれば精液の急速チャージモードとなるのだ!!
従って出し尽くせば終わるなどと思うなよ!!
ムニュ
グニュ
ホレホレホレ
いや……
こ……こんな……
ムニュ
グニュ
ビュビュビュ

はあ
はあ
ん……
ガク
ガク
ガク
どうした
どうした!?
この程度のことで
へバッていては
立派な肉奴隷には
なれんぞ!!
も…もう
ダメ……
全く根性の
ないやつだ
私はそんな肉奴隷を
造った覚えはないぞ!!
おいっ
アレを持て!!
はっ
モゾ
モゾ
な なによ
それは!?
お前はまだ
刺激が足りんと
みえる
心身ともに
肉奴隷になるには
さらなるステップが
必要だ
ポン
こいつは
動物の体内に寄生する
ヤスデの一種でな
生暖かく
小さな穴蔵を好む
習性がある
…!!

やめて……
そ
そんなの
がしっ
フフフフ
こいつらも早く巣穴に
潜り込みたくて
ウズウズしておる
いひぃいいぃ
ぐうぅ
あっあ

くふ……
ううぅん…んん!!
いひ……
ニュルル
モゾ
モゾ
どうかな?
精管をヤスデが逆流していく感覚は
あぁ
あ
ビクッ
ビクーン
そ…そんな奥まで……
ピュッ
ピピ
ヒヒ……
何せ数が多いからな
後続に押されて先頭はどこまでも突き進んでいく
ムズッ
!!!
おぉ
ついに精嚢(せいのう)に達したか!?
ひ……
ひいいいいい!!
ムニュ
ゲゲ

なんとか
言いながらも
残らず納めて
しまったではないか
はあ
う動く……
動いてる
気持ち
悪いいい!!
なに?
気持ち悪いだと
そいつは
イカンな……
んん
はっ
気持ちよいなら
ともかく気持ち
悪いなど……
この特製媚薬で
最後の仕上げを
してやろう
肉奴隷たるもの
あらゆる刺激を
快楽へと変換
できねばな
チャッ
『淫魔殺し』の
異名を持つ
強烈な薬だ
お前は人の形をした
むきたての
クリトリスとなる
ちゅー
ちゅー
ちゅー
!
あ……
あん……
な…に……

あい……!!
くぅぅぅぅぅ
プルー
プルー
ビクン
ハハハハ どうだ 子宮に・・くるだろう!?
ウウウウン
き……
きてる……きてるゥ
あああ……
ビビン

ス……
スゴイ!!
いいいいい
ん…あぁ
熱っ……
おい
こいつの拘束を
解いてやれ
は……
いや
しかし……
構わん
自らの意志で
快楽を求めてこそ
肉奴隷というものだ
ピクッ
ピクッ

はあっ はあぁ!!
あ……っうっ
くうん
はいっ!!

いいいいいいいいいいいい!!
き……気持ち……
うくむ なんという激しさだ
手の動きが見えません……
いいよォ
ビュッビュッビュッ
いひぃ
はうっあ
ス……テキ……
おっおおお
ビュクッ
ガシュッ

いっくうう
スゴ……イイ
ほっ
射精ってステキィ〜!!

くふう
こんな……
うれしい……
もっと……
もっと出したい……
もっとぉ～～～
ドロドロ
ビクッ
ムニュ
ムニュ
んっ
クチュ
クチュ
ふう
ぐふっ
うう
はんっあ

フフフ
もう完全にキレてしまっている
これほど見事に仕上がるとは思わなかったな
さて……
もう一体の方も仕上げねば……

III third

～Battle VI～

さて……
次はお前の番だ
あの娘も見事な肉奴隷に仕上がってるぜ
ヤラ

ん……
ゴクッ
ゴポッ
うくむ
我ながら
かってないほどの
出来映えだ
は
どうやら
失神してしまった
ようですな
ピクッ
ピュッ
ピクッ
ピクッ

完璧だな
並の者ならば
失神どころか
あの世行きだぞ

よっと
あの神官にも
同じ加工を施せば
こいつとペアーにして
いい値で売れる
コレは牢内に
保管しておけ
はっ

ガラガラ
バイア……
どうなっちゃったのよ
あっ!!
あれは!?
バイア!
バイア!
目を覚まして!!
うるせえな
今さら何を言ってもムダだよ
こいつはすでに完成品だ
あの狂い方ではまともな精神など残っていないさ
そらお前はここで出荷待ちだ

ねねえ
あたし
欲しい……
まだ
足りないの……
なに？
ギシャ
中が熱くて
熱くて……
もっと
イキたい……
ドロドロ
グチョ
やれやれ
デルファス様
特製媚薬がまだ
効いている
感じだ
いや
完成品なら常に
欲情しているのが
普通だぜ
はっ
早く……
ちょう
だい!!
ったく
しょうがねえな
女にそこまで
言われちゃ
やらないわけには
……
この程度の
役得がなけりゃ
やってられんよ
あくあ
見ろよ
こんなになって
やがるぜ

はああ
あッ
あ…あっ
あ…つい!!
ズチュ
グチュ
ぐはっ
こ こいつは
スゴすぎる!!
ズーン
信じられねェ
なんでこんなに
……
ズーン
ズーン
いいいのかよ
このまま中に
出しちまって
……
構うものか
どうせ子宮は
精液だらけだ!!
ズーン
ビュビュビュルル
んはあ
くうぅ
あン
ドクッ
ドクッ

このっ
ぶっ!!

うぅぅ
ズズ
うう……

フン
あんな媚薬なんて
体液と一緒に
出しつくしてるわよ

異常ないか？
おう
あの武器庫はどこですか？
なんだ？新入りか
向こうの通路を右に……
ザッ
おっ？貴様 何か怪しいぞ!!
そう？
ちえすとぉ!!
んがっ
はいっ
うおっ
エヘヘ……
ダッダッダッ

ふう
ここか……
へえ……
結構いいモノそろえているじゃない
でもねえ
なれないモノ使っても今一つ調子出ないし……
あったあたしの愛用の装備！
もぐぐぐ
ガラクタと一緒に投げ込むことないじゃないの
くそぐぐぐ
体を含めて好き勝手にやりやがって見てなさいよ

こら〜〜〜
やめなさい!!
なんなのよ
コレは……
お前は
あの娘ほどには
感度がよくない
まずは
この溶液に浸して
神経系から改良
しなければな
あっ……
ああ……
いやあ
コポ
コポ
あ……
やだ……
染み込んで
……
全身の毛穴から
入ってくるだろう
半日もたてば
生まれ変わった
気分になれるぞ
ちゃぷ
ちゃぷ
ドーン
ゴゴゴゴ
むっ
何事だ!?

オラ
オラ
うわっ
ドゥッ
ドッ
ぐう
くそっ
ひそかにファーラを救出する予定だったのに……
もうなるようになれ!!
がっ
おっと
おっ
いたいたあそこだ
はいっ
ドドッ
ドカッ

なにィ〜!?
あの巨乳が脱走しただと!?
警備の者は何をしている
も申しわけございません
やつは施設内にて爆弾を投げまくって手がつけられません
無能どもめが
よいかそこの管制室はなんとしても死守せよ!!
はっ
オークどもを叩き起こして……
ドドドー
うはっ
あ
……やられました
装置全壊!!
オークの制御が不能に……
うわっ
フッフッフッやりおるわい
イカレ娘めが〜〜〜
デルファス様各所で落盤が発生!
ここは危険です
おいあの神官を引き上げろ!
これでは改造手術どころではないわ
一度退去して体勢を立て直す
はっ
あいつめ〜〜〜
隠密行動向きじゃないのはわかっていたけど……
少しは知恵を使ってほしいものだわ……
ギリギリ

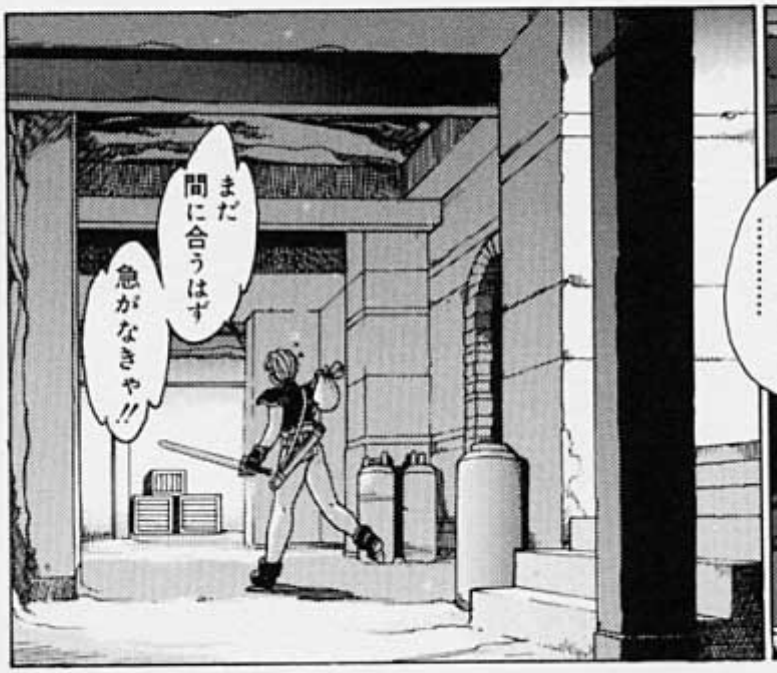
くそ……
各部は一体
どうなってる!?
早く
武装兵を
集めないと……
ゴホッ
わからん
……
あちこち
寸断されて
……
おおっ
やってきたか
さっさと……
ウガ
アアア
キエエ
エエ
うわっ
しまった
オークども
が……
あれ〜〜〜
オークまで
ケンカしてる
なんで?
カアア
ドス
まあ
いいや
こっちに
とっては
好都合だし

ここは……
あたしがやられまくったところだな
カッ

怪しい薬も置きっぱなしだな

あっ！
これはファーラの……
やっぱりここに連れ込まれていたんだな

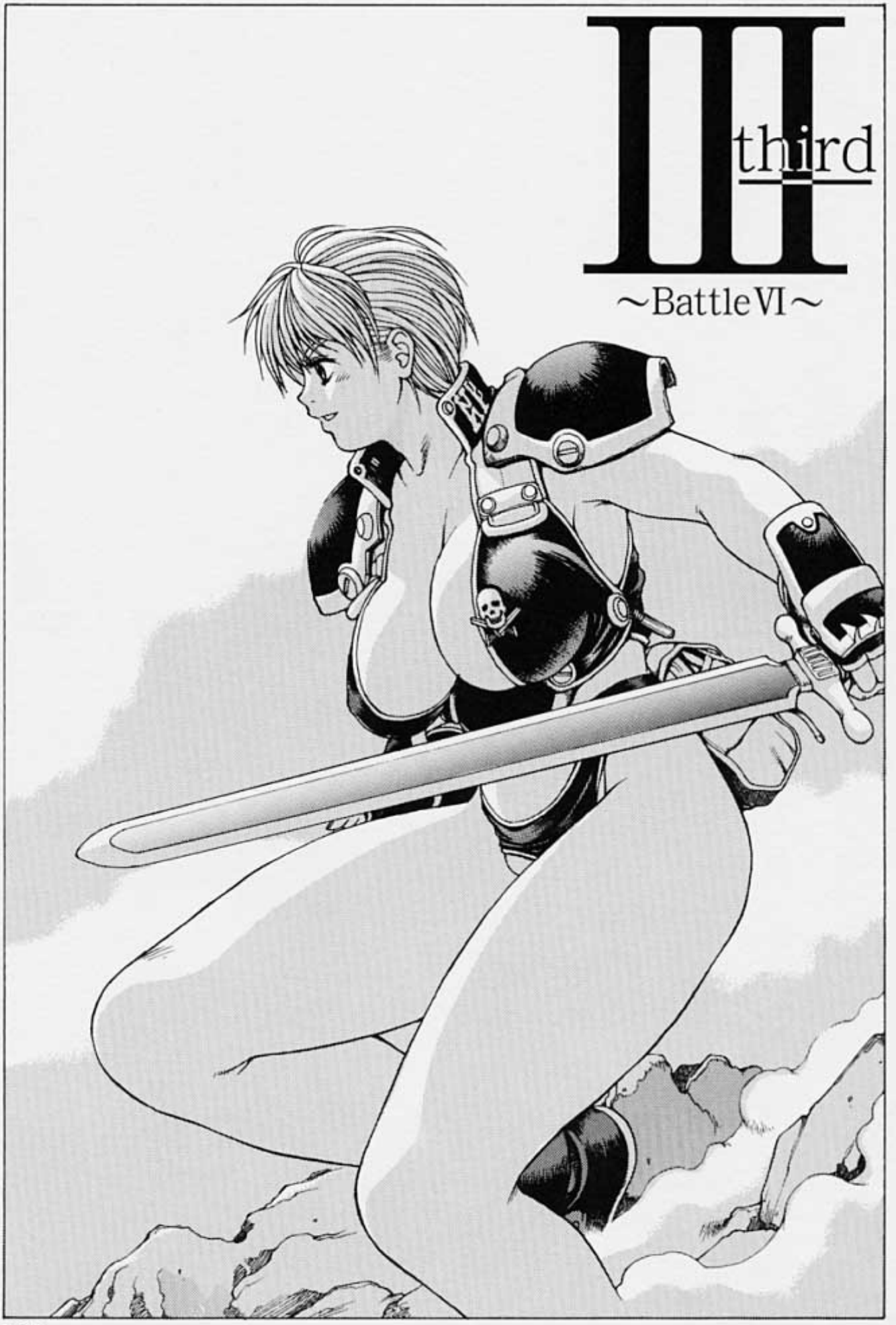
エヘヘ
少しもらっていこう
この手のモノは闇市に流せばいい値で売れる


まだ間に合うはず
急がなきゃ!!

もう改造されたかな……
いや そんな時間はなかったし
あの悪党は商売っ気が強そうだから
そう簡単に商品の処分はしないだろう……

PUNKY KNIGHT

PUNKY KNIGHT Ⅲ-⑤／おわり


III
third
~Battle VI~

むん!!
うわっ
チィ!
でかい乳のくせに身軽なやつめ!!
はっ
おっと
呪文が長すぎるよ
余裕で避ける態勢がとれちゃうもの

ここもろいんだからさ あまり連発すると
自分も落盤の下敷きになっちゃうぞ
おのれ〜〜〜
こざかしいことを……
おい お前たち!
私が退避するまで やつを足止めしろ!!
は……
ええ!?
ぬう!?
うお!!
ドドド
ありゃ
わわっ
うはっ スキありィ!!

諸君！潔くな!!
うはは
ちょっとデルファス様くくくくく
そりゃないっスよォ
くっそくくく
こうなったら一刻も早くやつを倒しておれたちも脱出するぞ
やれやれ
薄情な上司にそこまで義理立てすることないじゃないのさ
うるさい!!
覚悟しろよ!!
あたしが欲しいのはあのエロ魔道士の首だけなんだから
ムム……
けどなぁ……
あたしを倒さなくたって逃げたきゃ逃げればいいでしょ？
うまく生き延びたらウッドランドシティにおいでよ！
サービスで好きなだけ中に出させてあげるから♡
……
お
おいおい
おれは逃げる
逃げてあの子の中に出してやるぞ

それじゃあおれもだ
おれも出す!
よしよし お客さん ひと山 ゲット
は!?
ガラ
……
あ……そうか……
やだ そんな目で…… エヘヘ……
ったく! あなたがずっと一人で仕事やっているのってわかる気がする
一緒にいると危ないもの
そんな……
大体 今回の仕事はさらわれた娘たちの救出が第一の目的!!
わかってるの?
あ そんなこともあったねえ……
もくくく これだから平気で爆発物をバラまけるのね
……ってことは 二人で救出してたらエロオヤジを逃がしちゃうわけで……
あっ ちょっと 何なのよ!?
ファーラは娘たちを捜して安全な所に!
あたしは賞金首をいただく!!
ドカッ

はっ
はっ
はっ
くそぉぉぉ
どこまで
行ってんのよ
もう外部に
出ちゃったの
かな……
つきあたりに
それっぽい扉
この中に
逃げ込んだな
おっ

ギィィ
おじゃましますよ……
ブゥゥゥゥ
シュウウウ
!
フフフフ……
のこのことやってきおったな
バタン
え!!

さくて
もうどこにも
逃がさぬぞ
今までの
負債を払って
もらわねば
フン
また魔法なんて
軽々しく使うと
落盤で自滅して
しまうよ！
ヒヒヒ
攻撃魔法など
野暮なモノは
使わぬわ
今一度
調教し直して
やろう
ふくん
そういう
ことなら……
呪文を
唱える前に
斬る!!
バカめが
いただき
まくす!!

ぬん!!
な!?
なに……
早すぎ……
ビリビリ
うはははうかつだな!
私に接続されたこの装置は呪文を唱えずとも念じるだけで一瞬の間に魔法を発動させることができるのだ
あ〜〜〜ちょ ちょっとそれズルイぞ!
はっ
ビカッ
ついでに威力も倍増ときている
や……やだ……これ……
また……
ドクン
ドクン

ああっ
あン
ビクッビクッ
ビクン
くあぁ
キュウウン
子宮が熱い〜〜〜
ハハハハ
改造によって感度も向上しているだけに
今回はちと厳しいかもな
はっ
はう
んん
さらに容赦なき追撃!!
タプー
あふ
くううん
ビクッ
ピクン
ピクッ

あうっ
うふ……
はっ
ううん!!
そうれ
もっともっと
激しく狂わねば
かわいげが
ないぞ!!
うん!!
くふうう
……
あぁ
あ
そうか
そうか
狂うには
まだまだ刺激が
足らなかったな

やはり肉と肉のせめぎ合いでなければ真の快楽とは言えぬ

一番バルブ全開

強壮剤注入開始!!

キュイッ

ぬらり

ドクッ

ドクッ

ドクン

ふっ

ふん! ううう

はっ

大き……

グッ

んはあぁぁ

ズルニュウ

あいっ

ビクン

あひっ
はいっ
エグってる……
膣壁がエグられ……
こ…これが
いいイイ!!
や…やはり……
我が最高傑作に
間違いはない!!
計算外なのは
こやつの頭の中
だけか!!
全く散々
手こずらせ
おって……
どうだ!?
肉奴隷らしく
見事にイッって
みせよ!!
あっあっ
そんな
奥まで……

はにゃあ
あああ
あッつぅぅ
あうっ
はあっ
うはっ
相変わらず
よく出る!!
さ 最高の
膣内射精〜!!
うっふう
ううん
よか
よか!!

それっ
出すモノなら
まだまだある
だろう?
はいい
あっ
キッ……
うっ
うっく
うっ
うんん
にゃっ
はああ
ホレホレ
たっぷり溜めて
一気に出す!!
うんっ
きた……
昇ってる
昇ってき
……

あひ!!

はっ

あはあああん!!!

ピチャ

ピチャチャ

ビュルルルビュウ

うははは母乳と精液が空中でからみ合って……

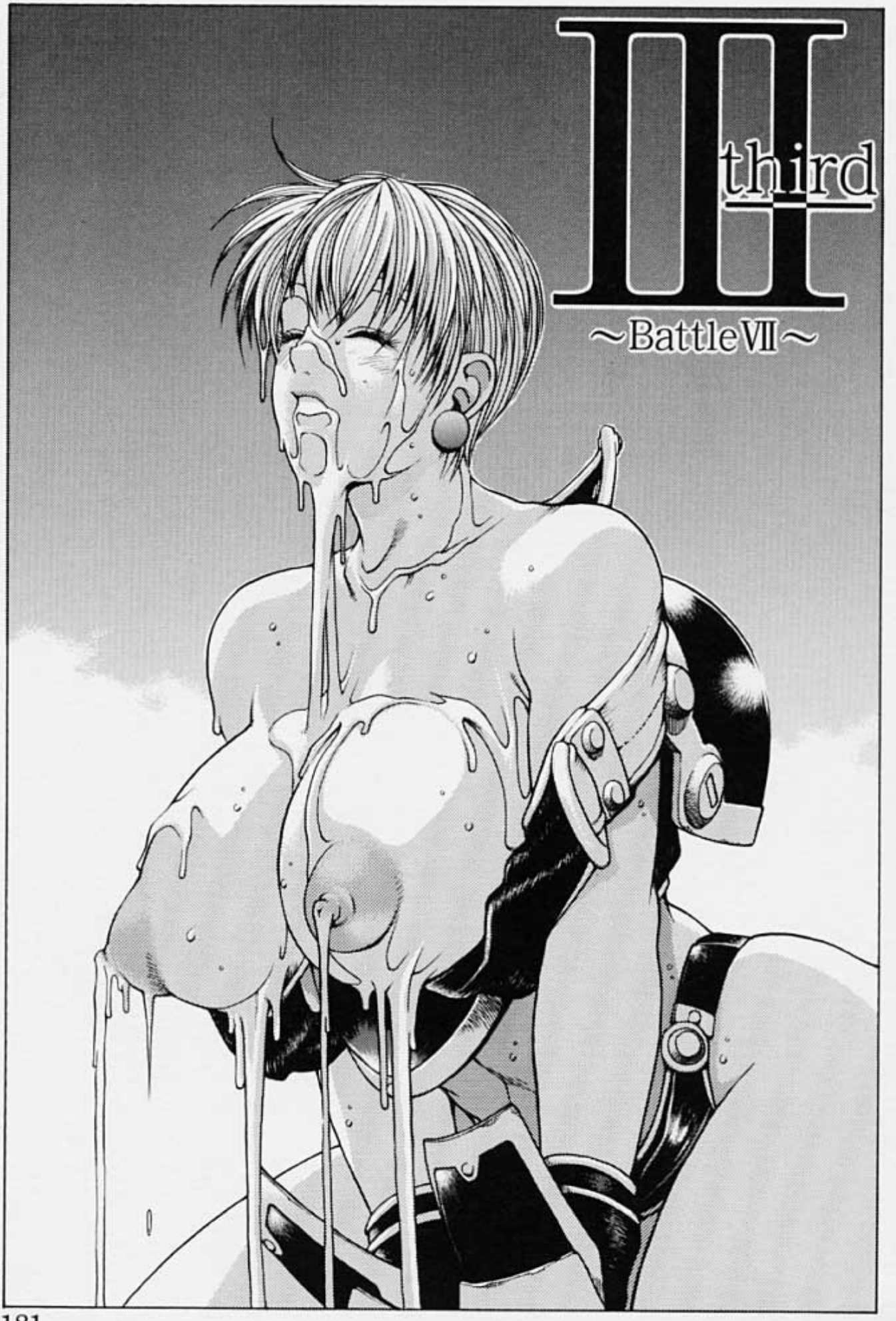
見事!!

ではそろそろとっておきの芸を見せてやるかな

あ

あン

PUNKY KNIGHT Ⅲ-⑥／おわり


III
third
～Battle Ⅶ～

ぬふふふ
最後の仕上げに耐えられるほどの体力が残っているか……
はっ
はっ
あまり商品を消耗させたくはないが……
グッ
不良品の修正ならばやむを得ん
あひっ
あっ
いい
はっ

そうら
子宮に指がかかったぞ〜〜〜
ビクッ
いやっ
あっ
あふっ
ビクン
ガイッ
ガグ

フフフ
改造手術の際にお前が妊娠していることはわかっていたが
あえて放置しておいたのだ
競売のときにでも余興で産ませるつもりだったよ
しかし予定変更だ
な……
何を……

ぬん!!
出力全開!!
うぁ

はうっ
ここの感じは……
あっ
治癒魔法は細胞を爆発的に活性化させることで傷を癒すが……
それを応用すれば胎児を一気に成長させることも可能となる！
ひい
うっ
熱っ
タプッ
タプッ
おなかが熱いぃ
ビビビ
グチュ
グチュ
うそっ こんな……
早い……早過ぎる〜〜〜
ドクン
ピクッ
ピクン

ギュウウン
ダメェ
あ
頭が変になりそう……
以前 試したときは途中で実験体の気がふれたものだが
ヒヒヒ
それっ 見事に産んでみよ!!
ドクッ
ドクッ
ドクン
ピクン ピクン
ズキュキュ
ああっ
胸が
張ってくる……
胎児の成長に合わせて乳も一段とデカくなってきたな
タプー
タプッ
あいっ
あくあ
ピュピュッ

ビクン
よくし
よしよし
きたきた〜〜〜
ギュイイイ
タプン
タプン
もッ……
もう……
限界……
ああ
ふっ
うっ
おっ
んふぅ
!!
ギクギク
ギクギク
ビクン
ビクン

はあ
はあ
フフフ
ずいぶんと手慣れたものだ
どうせ一度や二度の経験ではあるまい
これも実験素材として活用しようか
どうした
さすがのお前もまいってしまっているようだな
それでは身軽になったところで一発いくか?
ダ……ダメ……
ゲイ
ドゴッ
あ……
心配するなすぐにデキるようにしてやる
ドゴ

くあぁ
あっつぅぅぅ
はああ
ビキキキ
そうれ
またいくらでも
産めるように
してやる
いひっ
ひいい
ヒュヒュ
ミュバババ
あぁ
たっぷりと
かき回して
……
ピー
ピー
ピー
むっ
チッ
強壮剤が
切れてしまった
フフフ
待っておれ
補給完了次第
思いきり子宮を
突き上げてやる
ウィーン

ゴーン
ムクッ
さて…と
ここはひとつ強力なやつで……
ザッ
!
やや!? キサマ何を……
うお!?
ちゅ〜
ぬおお!!
ザーー
ぐっ

へっへっへっ
もう
遅いわよ！
そ
それは
特製媚薬
いつの間に……
さっき手術室で
いただいて
おいたのよ！
そうだ
それどころ
ではない
バルブの
閉鎖を……
にやっ
!!!
ぐうお
ああ
あぁ!!
どうよ
強力な奴が
欲しかったんで
しょ？
ピク ピク
バ……
バカモノ……
強力
過ぎ……
ぐふ

んっ!!
はあ?
くっ うっ
な 何をやっている!?
キサマ 頭おかしいんじゃないか
最後の仕上げにかき回してくれるんでしょ
だったらこっちも付き合ってやろうじゃ……
あいっ
あはっ はっ
ふっ
ちょ……
ちょっと
まあ待て待て
ぬふ

あっはああ
まっすぐつらぬいて
スゴい
んはっ
ぐうがいぎぎ
うふっ
うん
いいかん
射精がとまらん!!
おなかいっぱいに絶え間なく注がれ続けるなんて……
ステキ!!

おおおスゴい……
圧力が高まり過ぎた
強力な人工心臓が裏目に出たか
ああん あたしも圧力 高まるぅ～～～
むぐ……
はいっはいいいい
出るううう
ふわああ

……
もっとォ!!
もっと!
中で暴れて……
気持ち……いいいいい!!

…ア
パイア
パイア!!
ん……
だ 大丈夫なの!?
あ……ファーラ……
ったく 一人で突っ走るから
エヘヘ ごめんごめん
ところでアレはあなたが?
へ?
ああコレね
そうか最後までしぼりつくしてやったのか
そうだ さらわれた娘たちは……
ちゃんと保護したわよ
一人でまとめるの大変だったのよ
あ!! あたしの赤ちゃん!!
はあ?

よしよし
いい子だねぇぇぇ
ちょっと唐突だけど……
まあ 無事でなにより……
でもパイアはいろいろと怪しいことされたんでしょ
え……
うん
まあ……
別にたいしたことないって
ふぅん
立派なイチモツから白い液を噴き出してるところ見たんだけど……
あこら!!
ちょっと何すんの!?
うふふ……どんなことされたのか知りたいな
もぅぅぅ子供の前でやめてよね
あんた聖職者でしょ!!
関係ないって
それより帰ったらパイアの新しい体試させてよ

あ と が き

ども、御無沙汰です。四、五年ぶりの単行本です。
まるで八七式自走高射機関砲並みの生産性、もはや
早い遅いという次元の問題ではございません。
とにかく描かなきゃダメですね。

てなわけで、四、五年ぶりの単行本いかがでしょか。
久々に読み返しても雑ですね。絵も不安定だし。
もとより一般受けするタイプではありませんが、最近
特にマニア指向が顕著に表れております。
氣に入らない部分は諸氏の器量で乗り越えてください。

今後の活動は未定ですが、なるべく早く描くよう
心掛けるつもりでおりますので、氣長にお待ち
いただければ幸いです。

では、いつも待たせてばかりの編集部の方、
そして何よりも本書を御購入いただいた
皆様に感謝しつつ、さようなら。

平成十四年二月二十二日

傭兵小僧

傭兵組合

TENMAコミックス

PUNKY KNIGHT -BOUNCING PHAIA-

定価：本体895円+税

2001年5月25日初刷発行

著　者　傭兵小僧

発行所　茜新社

〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-6-5
TEL. 03(3222)1977
FAX. 03(3222)1985
振替　00170-1-39368

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

9784871825047

ISBN4-87182-504-3

C9979 ¥895E

1929979008956

雑誌　56450－28
発行　茜新社
定価　本体895円＋税